

令和4年度産科医療機関看護管理者研修・交流会 終了報告

開催日時：令和4年7月24日（日） 10:00～12:30

開催場所：ホテル青森 3階 金鶏の間

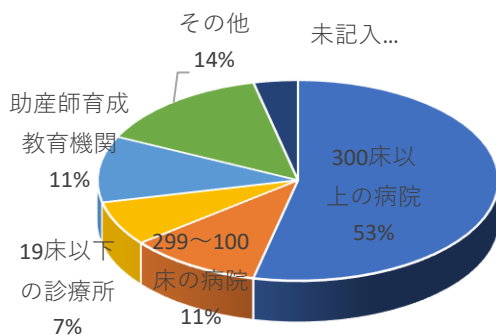
参加者計：29名

内 容：プログラム

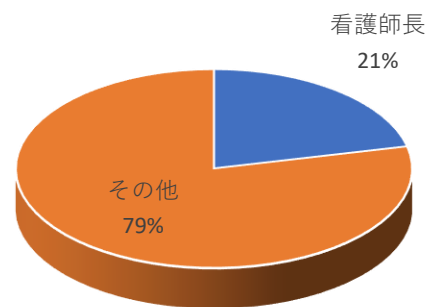
10:00	会長挨拶 公益社団法人青森県看護協会 会長 柗谷 京子
10:05	「周産期医療に係る国と行政の動きについて」 青森県健康福祉部 部長 永田 翔
10:45	「これからの助産師に期待すること」 公益社団法人日本看護協会 常任理事 井本 寛子（リモート）
12:15	意見交換・質疑応答

アンケート結果：

1 勤務施設

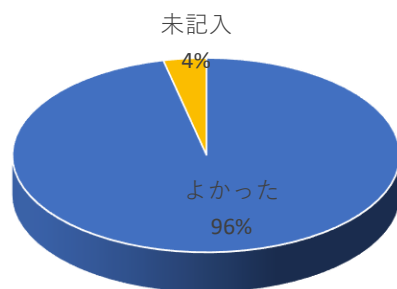


2 職位



その他・・・看護師・助産師教育機関、助産院、行政

3 研修内容について



よかったと答えた具体的内容

周産期領域における課題を共有できたこと、今後の自施設での取り組みへの展望ができた。
現場の実態を（他院）知ることができた。自分の向かう道も考えられた。
地域助産師としての立場でどういう関わりをしないか考えさせられた。病院、行政との関わりで（妊産婦への関わり）もっと情報共有提供のあり方を考えて妊産婦、児のためによりよい関わりがしたいと考える。
青森県の状況がわかりました。今後の課題も見えてきました。
自施設でまだまだできていないこと、やらなければならないことを知り大変だなと感じた。頑張ります。
今後の方針について検討する機会になりました。
現状、課題を整理して理解することができた。
周産期医療の向かうべき方向がとてもわかりやすかったです。
井本先生のお話がとても具体的でわかりやすかったです。

今後とこのようなことに取り組んでいくべきか学ぶことができました。

助産師に期待することに対する考え方を理解することができました。

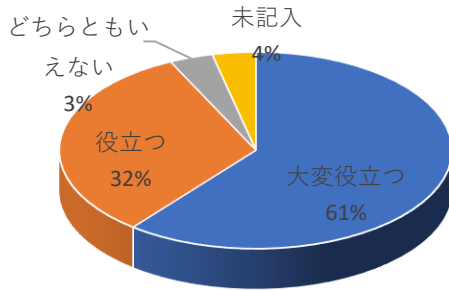
全国的な助産に関する課題を知ることが出来た。

助産師に期待されている事がわかった。

タスクシフトの必要性が理解できた。NS管理者の理解を深めることの大切さが認識できた（伝えることが大切）。

井本先生の助産師を取り巻く現状等。

4 今回の研修はレベルアップに役立つか



5 研修に対する意見、助産師活用事業で実施してほしい事など

ハイリスク妊産婦を少しでも減らしていくことが重要だと感じました。

施設勤務助産師として国や県の事業を念頭に施設にもっと働きかけをしなければならぬと思いました。助産スタッフのモチベーションを上げられるような活動や施設からの反発に論破できるよう知識を備えたいと思います。

色々な多くの事を学ぶことが出来ました。今後の助産師のあり方について何が出来るだろうと思いました。地域からやれることを考えていきたい。

院内助産をやっている施設の話がききたいです。

妊産婦含めすべての女性の健康課題に向けた働き掛けができるように地域に提言していくことが大切だと思いました。青森県のハイリスク妊産婦の割合が知りたい。

母子のための地域包括ケア病院について、クロックミップ取得者拡大に向けた取り組み等

県病の教育担当者のご意見が代表する意見に感謝いたします。アドバンス更新を頑張りたいと思いました。

